



枝川小だより

「やればできる」ことを
みんなで教え合おう！
味わおう！

第75回 卒業証書授与式

3月18日（金）あいにくの雨模様となりましたが、「令和3年度第75回 卒業証書授与式」を挙行了しました。コロナウイルス感染拡大防止の観点から、PTA会長さん以外のご来賓の方々の参列をご遠慮いただいたの実施としました。

卒業生の2名は、堂々とした態度で卒業証書を受け取り、「卒業によせて」では、それぞれが卒業の日を迎えるにあたって、今の気持ちを壇上で発表しました。卒業生の退場時には、在校生が心を込めて「大空が迎える朝」を合唱して見送りました。

原口校長は、式辞の中で、最高学年としての日々の頑張りを紹介した後、はなむけの言葉として、「夢を実現するために突破口を一つ一つ見つけていくこと」「くじけずに、何度でも立ち上がって、打たれ強くなること」を卒業生に送りました。

寒い日でしたが、心のこもった温かい雰囲気にも包まれた卒業式となりました。

小林さん、吉田さん、中学校での活躍を期待しています。心から応援しています。



卒業によせて（抜粋）

枝川小学校での6年間は、いろいろなことがあり、たくさんの経験をしました。その中で、ぼくは、決められたこと・やらなければならないことを最後までがんばってやり通すことを学びました。

正直に言うと、ぼくは、合奏団の活動があまり好きではありませんでした。それは、早く家に帰ってのんびりしたいと思っていたからです。でも、先生方や家族に励まされ、応援されて、休まずに練習することができました。その結果、最後の全校音楽会でのソロは成功し、たくさんの拍手をもらうことができました。そのときは、1つのことを成し遂げた達成感を得ました。どんなことも、最後までやり続けること・やり抜くことの大切さを実感しました。在校生のみなさんにも、これからの合奏団の活動をがんばってほしいです。

在校生のみなさん、いっしょに遊んでくれてありがとう。6年間支えてくださった先生方、温かく見守ってくださった地域の方々、ありがとうございました。お父さんお母さんにもたくさんお世話になりました。ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いします。 第75回卒業生 小林

卒業によせて（抜粋）

今、私は卒業証書を手に入れました。これまでの6年間の頑張りが認められたようでとても誇らしいです。この6年間、枝川小学校に通い、私が学んだことはたくさんあります。「やらなければならないことをしっかりとやりとげること」「協力すること」「進んで働くこと」「だれにでも公正・公平に接すること」「自然を大切にすること」「あいさつをすること」「誰とも仲よくすること」「小さい子の面倒を見ること」「みんなと遊ぶと楽しいこと」そして、「やればできる」ということ。

枝川小学校のよさは、学年を超えて仲よくなれることだと思います。

在校生のみなさん、楽しい時をいっしょに過ごしてくれてありがとうございました。これからも、ずっとみんなで、仲よく過ごしてください。

私は、4月からは中学生になります。私には枝川小学校で学んだたくさんの宝物があります。それを持って、堂々と生活したいです。 第75回卒業生 吉田

令和3年度 修了式



3月24日（木）令和3年度 修了式を行いました。1年の平塚さんと5年の荻野さんが、児童を代表して「1年間を振り返って」の作文発表をしました。その後、原口校長から各学年代表児童に修了証が手渡されました。また、原口校長からは、子供たちに対して「1年間がんばりました。4月からは「やればできる」のレベルをさらに高めていきましょう。」と話がありました。

令和3年度も普段とは違った1年となりましたが、保護者の皆様、地域の皆様のご協力により大過なく修了式を迎えることができました。ありがとうございました。